脳ドックでひと安心

広がる受診 35歳記者が体験

医師「まず予防を」

ある日突然倒れ、死亡したり重い後遺症が残ったりする原因になる脳の病気。破裂する前に脳動脈のこぶなどの異常を見つけ、早期の治療につなげるための脳ドックが広がっています。検査ではどんなことがわかるのでしょうか。記者(35)が体験しました。

1月半ばの朝、脳ドックを受けようと広島市西区にある荒木脳神経外科病院(110床)を訪ねた。

子どもの頃から頭痛持ちで、大人になってからもズキズキとした痛みや頭を締めつけられるような感覚に悩まされてきた。以前から一度きちんと脳の検査を受けたいと思っていた。

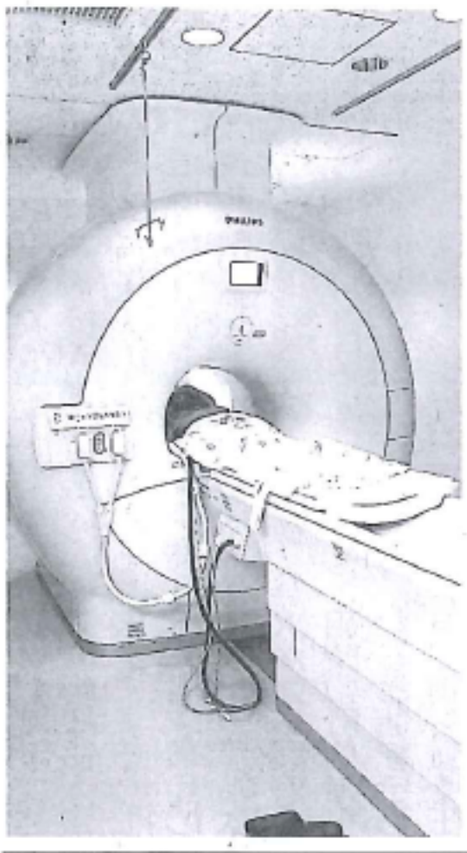
係の女性に案内された部屋で、過去の病歴や現在の症状に関する問診票を記入。検査着に着替えて血圧や血液、尿の検査を終えてからMRI(磁気共鳴断層撮影)室へ向かった。

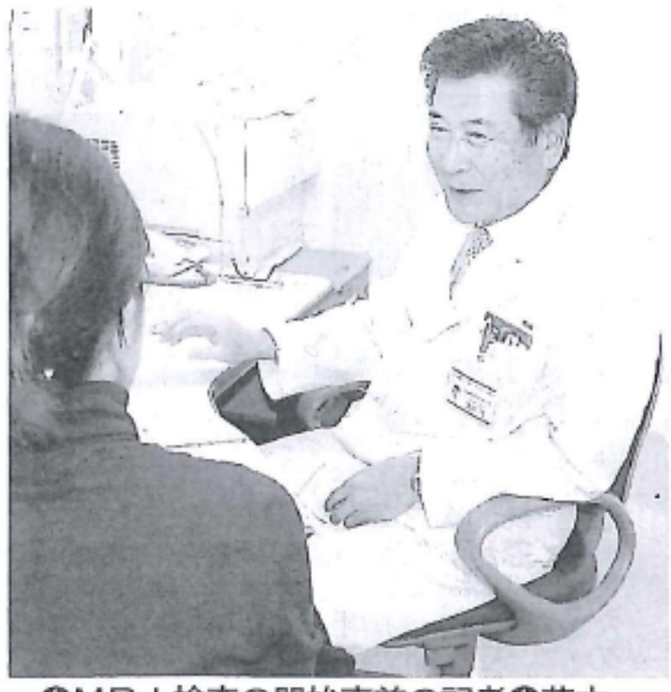
MRIとMRA(磁気共鳴血管撮影)は同じ機器で、強い磁場の中で電磁波を当て、それぞれ脳の断面と血管の様子を画像化する。くも膜下出血につながる未破裂の脳動脈瘤や、自覚症状のない脳梗塞、脳腫瘍などを見つけるのが目的だ。CT(コンピューター断層撮影)と違って、放射線被曝はない。

同院では2011年4月に3・0テスラMRIを導入。先に設置していた1・5テスラMRIよりも詳しく血管の状態がわかるため、より小さな脳動脈瘤を見つけられるようになったという。

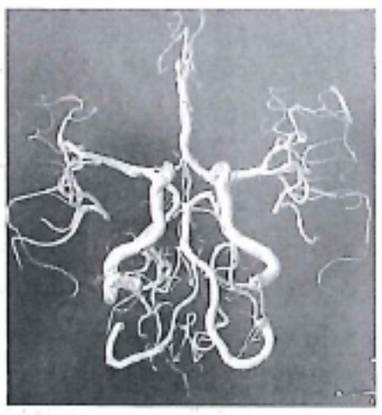
検査の間、音楽が流れるヘッドホンを着けていても「ドドドドドドーッ」「ズーンズーン」という大きな音が聞こえた。予想以上の音に驚きつつも、約25分の検査を何とか動かずに終えることができた。その後は胸部X線や心電図、首の血管の超音波検査が続いた。

最後は医師による診察と検査結果の説明があった。





(左)MRI検査の開始直前の記者(右)荒木攻理事長(右)に脳ドックの結果を説明してもらう記者=いずれも広島市西区庚午北2丁目、病院職員撮影



記者のMRA画像。「異常なし」と診断された=広島市西区庚午北2丁目

家族に病歴 リスク要因ある人40代で

脳ドック学会・小林理事長に聞く

脳ドックは1988年に北海道と島根県で始まった。日本脳ドック学会によると、脳ドックを実施する医療機関は全国に約600カ所。このうち設備や検査項目などで学会の基準を満たした認定施設は246カ所(昨年4月現在)で、学会のホームページ(http://jbds.jp/)で公表されている。

どんな人が脳ドックを受ければいいのだろうか。学会のガイドラインは積極的に受診を勧める対象として「中・高齢者」を挙げる。学会の小林祥泰理事長(島根大学長)は「くも膜下出血を起こした家族がいる人や、家族が脳卒中を経験し自身が高血圧の人は40歳を過ぎたら脳ドックを受けましょう。何もない人は60歳くらいを目安に受診を考えてみては」と助言する。

脳ドックの費用は検査内容や医療機関によって幅があり、5万円以上かかることも珍しくない。ただ、健康保険組合などによっては費用を補助するところもある。(南宏美)

循環器内科の男性医師(50)によると、脳の病気にも関係するという心臓や腎臓に異常はなく、首の血管にも動脈硬化は見られなかった。脳神経外科医で、同院を運営する医療法人の荒木攻理事長(71)からも説明を受けた。撮影した画像=写真=を一緒に見ながら、「問題ないですよ」と言われると、ひと安心した。

同院では13年度に244人が脳ドックを受診。脳動脈瘤や脳梗塞が見つかった人もいた。例えば脳動脈瘤では破裂を防ぐため、血管のこぶの根元をクリップではさむ手術や、血管にカテーテルを通してこぶにコイルを詰めるといった治療が必要な場合があるという。

荒木さんは「(脳出血や脳梗塞などが)起きてからでは経済的負担も大きい。検査を受けて病気を予防していくことが大事」と話した。

同院の脳ドックは検査項目や、MRI検査を3・0テスラと1・5テスラのどちらで受けるかによって所要時間や料金が異なる4コースがある。最も安いのは2万5千円(税込み)。血液や胸部X線、心電図の検査を含まず、1・5テスラMRIを使うコースだ。

記者は脳ドックを詳しく知るため、「プレミアム脳ドック スペシャル」(約2時間半)という検査項目が充実し、3・0MRIを使ったコースを受けた。

脳ドックには公的医療保険は適用されない。4万9千円(税込み)を支払い、撮影したMRIなどの約220枚の画像データを記録したCD-Rをもらって病院を後にした。後日、院外の放射線科専門医が画像を確認した結果が自宅に届くという。

追伸 記者より

脳ドックを体験してから上司や同僚に受診を勧めています。会社や自治体で補助を受けられても数万円の負担は大きいですが、命を失ってからでは取り返しがつきません。今年は家族の誕生日に物ではなく、脳ドックをプレゼントしてはいかがでしょうか。私は早速、両親に贈るつもりです。(南)